

## 図書館員のひみつの本棚 第178回

今月はカーネギー賞を受賞し、23か国で翻訳されている歴史改変SF小説です。

『マザーランドの月』

サリー・ガードナー／著 三辺 律子／訳 小学館 2015年 ¥1500(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生★★★

高校★★★ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

物語の舞台はもうひとつの1956年。主人公の少年スティンディッシュの住む国を支配するマザーランドは、自分たちの力を世界に示すために人類初の月面着陸計画を立てていた。

正式なマザーランド市民でない者が、監視を受けながら生活する<ゾーン7>。そこに住むスティンディッシュの家となりに、ある日、ヘクターという少年の家族が移り住んでくる。ヘクターの両親も、いなくなったスティンディッシュの両親同様、マザーランドに逆らったのだ。スティンディッシュとヘクターは親友となるが、ある日、二人で遊んでいたサッカーボールが立ち入り禁止の塀の向こう側へ行ってしまう。スティンディッシュはボールをあきらめたが、あきらめきれずボールを探しに行ったヘクターはそこでマザーランドの秘密を知ることになる。

<子どもに手渡す時のポイント>

ハッピーエンドとは言い難いラストを迎えますが、徐々に真相が暴かれていくストーリーと、魅力的な登場人物に引き込まれ、最後まで目が離せない物語です。ぜひ、中学生、高校生に手渡してもらいたいと思います。



発行：福岡市教育委員会 総合図書館 図書サービス課

電話：092-852-0639

FAX：092-852-0801